



## テーマ:科学NO.1

5歳児

実施日: 令和7年5月~1月

### 🌸 テーマの設定理由

〇友だちと遊んでいるなかで、さまざまなことに気が付く子どもたち。日常生活の中で友だちに触れた際に「なんかピリッとした」と静電気が起きたことに気がついたり、鏡の前でポーズをとっているような表情をして楽しんだり、寒い目に吐く息が白いことに気がついたり、自分の身の回りの不思議なことに興味をもっていた。そんな子どもたちの姿を見て、もっと身近なものでの不思議を感じてもらいたいと感じた。いろいろなことを発見する楽しさや考える力、友だちの意見を聞く力につながると思い科学をテーマに設定した。

### 🗓️ 活動スケジュール

●年に6回、学研「かがくタイム」を実施する。

### 📖 活動のために準備したもの、環境設定

- ・クラスをグループに分けて、少人数で実験を楽しめるようにした。
- ・保育室や廊下、ホールや園庭も使えるようにした。
- ・鏡や磁石、空気砲の道具など、全員分用意した。
- ・机や椅子を片づけて、室内を広くして実験が行いやすいようにした。
- ・活動後には、子どもたちが自分で気づいたことを簡単に感想に書くようにした。

### 📝 活動内容

#### 〇鏡のふしぎ

→1人ひとつの鏡をグループで協力して、一つの絵を完成させたり、大きな鏡の中に入って（合わせ鏡）自分の姿が何人も見える現象に驚いていた。

#### 〇空気のかたまり（空気砲）

→段ボールを使用して、空気砲を作成する。勢いよく段ボールの両端を叩くことで空気が出て、目に見えない空気を感じる事ができた。

#### 〇目のふしぎ

→イラストやパラパラ漫画を用いて、目の錯覚を楽しんだ。

#### 〇磁石パワー

→いろいろな磁石を使い、どんな物が磁石と反応するのかという実験をした。

#### 〇静電気

→風船をこすると静電気が発生することや電気が発生することを学んだ。

#### 〇紙の爪作り

→紙の強さを知り、何枚も重ねたり折ったりすることで紙の強度が増すことを学んだ。





## テーマ:科学NO.2

### 5歳児

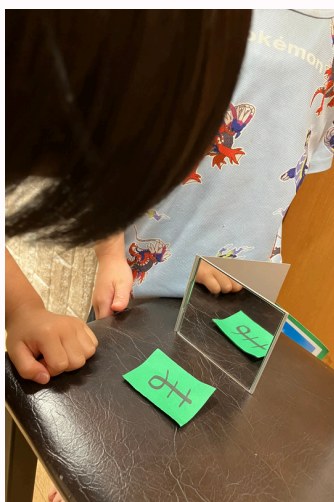
#### 🌸 活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり

○初回から興味を示し「やってみたい」の意欲がものすごく感じられた。特に鏡を使用して1つの絵を作成する時には友だち同士で協力する姿が見られ、やり方を発見したときには満面の笑みを浮かべていた。普段、積極的ではない子どもも実験をしていくうちに、何か発見する楽しさや不思議なことへの興味や関心が強くなってきたように感じた。保育者も最初から手助けをするのではなく、子どもたちが発見できるような言葉をかけたり、不思議を見つけた時には共感する姿勢を大切にした。

#### 😊 実践から子どもの姿や保育者との関わり、振り返り

○色んな実験をしていくなかで、自分たちが過ごしている日常での科学を知ることができた。また、実験だけで終わることなく、日ごろの生活の中でも静電気という言葉を使用したり、磁石の力に気が付いて製作活動に役立てたりしていた。保育活動では、保育士が鏡文字を書いた紙を園のいろいろな場所に置いて鏡を使った宝探しを楽しんだり、生活発表会でも鏡の仕組みを利用した道具を使用したりと様々な場面で科学を利用した保育を発展していくことができた。就学前の子どもたちにとっては、身近な気づきや不思議の世界が広がる活動となった。

#### 📷 活動の写真



オズの魔法使いの劇でもう少しオズの迫力が出ないかなと考えた時に、「鏡を使ってみる?！」と提案



大きな2面の鏡をあて奥行きや迫力、偉大な雰囲気が出ました!